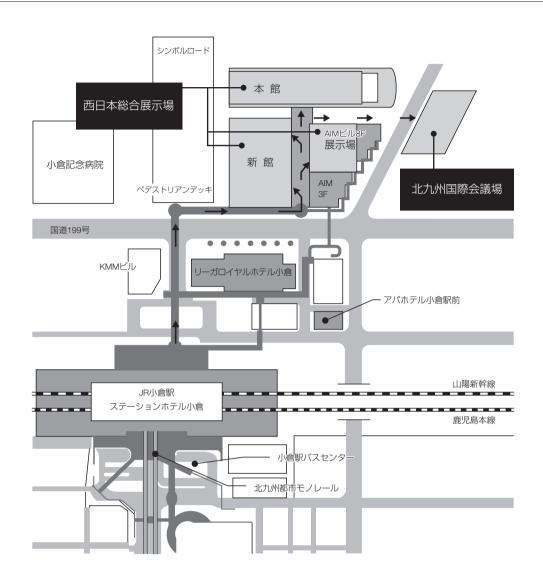
特定非営利活動法人 日本歯科保存学会 2015年度春季学術大会(第142回) プログラムおよび講演抄録集

Program and Abstracts, the 142nd Meeting of the Japanese Society of Conservative Dentistry, June 25–26, 2015, Fukuoka

2015年6月25日 (木), 6月26日 (金) 北九州市 西日本総合展示場 北九州国際会議場



■ 会場へのご案内 ■



交通手段			
JR	JR 小倉駅より徒歩 5 分	フェリー	日明港より車 10 分 新門司港より車 30 分 砂津港より徒歩 2 分
車	北九州都市高速道路 (小倉駅北ランプより1分) (足立ランプより8分)	飛行機	北九州空港より路線バス約 40 分 (小倉駅バスセンター下車) 車約 30 分

◆お車でお越しの場合、駐車場には限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会 2015年度 春季学術大会(第142回) プログラムおよび講演抄録集

Program and Abstracts,
The 142nd Meeting of the Japanese Society of Conservative Dentistry
June 25–26, 2015, Fukuoka

会 期:2015年6月25日(木) 8:50~19:10 2015年6月26日(金) 9:00~17:00

学会会場:西日本総合展示場

〒 802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 3-7-1 TEL: 093-541-5931 FAX: 093-541-5928

北九州国際会議場

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 3-9-30 TEL: 093-541-5931 FAX: 093-541-5928

日本歯科保存学会 HP: http://www.hozon.or.jp

学術大会 HP: http://web.apollon.nta.co.jp/jscd142/

A 会 場:西日本総合展示場 新館 1F A 展示場 B 会 場:北九州国際会議場 1F メインホール

C 会 場:北九州国際会議場 2F 国際会議室

ポスター会場:西日本総合展示場 AIM 3F D・E・F・G展示場企業展示会場:西日本総合展示場 AIM 3F D・E・F・G展示場

学術大会に参加される方へ、お知らせとお願い

◆今回の学術大会では、講演会場が A 会場(西日本総合展示場 新館 1F A 展示場), B 会場(北九州国際会議場 1F メインホール), C 会場(北九州国際会議場 2F 国際会議室)の 3 会場、ポスター会場、企業展示会場は西日本総合展示場 AIM 3F D・E・F・G 展示場となっております。

◆会場のご案内

6月25日(木)

開会の辞 :B会場(8:50~9:00) 研究発表 (口演): B1~12 : B 会場 (9:00~11:30) シンポジウムI :A会場(10:10~11:40) ランチョンセミナーI :A会場(12:00~12:50) ランチョンセミナーII :B会場(12:00~12:50) ランチョンセミナーⅢ : C 会場 (12:00~12:50) 評議員会・総会・表彰式 :A会場(13:00~13:50) 特別講演I : A 会場 (14:00~15:20) シンポジウムⅡ :A会場(15:30~17:00) 研究発表(口演):B13~19 :B会場(15:30~16:50) 研究発表 (口演): C1~6 : C 会場 (15:40~16:50)

Poster Session from Academy of Operative Dentistry,

Republic of China: ポスター会場 (17:10~18:00)優秀発表賞 (優秀ポスター賞) 候補演題ポスター発表: ポスター会場 (17:10~18:00)研究発表 (ポスター 奇数番号): ポスター会場 (17:10~18:00)

認定研修会 : A 会場 (18:10~19:10) 企業展示 : 企業展示会場 (9:00~18:00)

6月26日(金)

シンポジウムIII: A 会場 (9:00~10:30)特別講演 II: A 会場 (10:40~12:00)研究発表 (口演): B20~27: B 会場 (9:00~10:30)歯科衛生士教育講演: C 会場 (10:40~11:50)

編集連絡委員会 : 北九州国際会議場 2F 21 会議室(12:00~13:00)

ランチョンセミナーIV: B 会場 (12:10~13:00)ランチョンセミナーV: C 会場 (12:10~13:00)シンポジウムIV: A 会場 (13:10~14:40)研究発表 (口演): B 28~40: B 会場 (13:10~15:40)研究発表 (ポスター 偶数番号): ポスター会場 (16:00~16:50)

市民公開講座 企業展示 ・ 企業展示会場 (9:00~17:00) ・ 30~17:00 ・ 企業展示会場 (9:00~17:00) ・ ポスター会場 (16:50~17:00)

6月25日,26日の両日

講師控室:西日本総合展示場 AIM 3F 会議室

休憩スペース:西日本総合展示場 AIM 3F D·E·F·G展示場

クローク:西日本総合展示場 AIM 3F 311 会議室 学術大会本部 1:北九州国際会議場 1F 事務局室

学術大会本部 2: 西日本総合展示場 新館 1F 主催者室 A-1

◆受付は6月25日,26日ともに8:30から西日本総合展示場 新館2F ガレリアの,学術大会総合受付にて行います。事前登録がお済みの方は,事前に送付した参加証をご持参のうえ,事前登録受付にお立ち寄りください。当日登録の方は,受付に用意されている当日参加登録用紙に必要事項をご記入のうえ,当日受付にて登録を行ってください。

(当日参加登録費:10.000円)

口頭発表者へのお願い

- ◆口演時間は、一般演題は発表8分です。また、質疑応答は2分です。発言は座長の指示に従ってください。 口演に使用できるプロジェクターは1台となっております。
- ◆当日お持ちいただいたデータ (メディア: USB フラッシュメモリ, CD-ROM のいずれか一方をご用意ください) の PC 試写は以下の時間で可能です. 2 日目に口演される発表者が,前日に受付することも可能です.

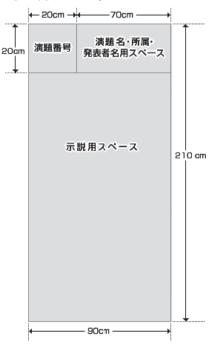
PC 試写時間:

6月25日 (木) 8:30~17:00 6月26日 (金) 8:30~14:30

※ A 会場でご発表の方は、直接会場内下手前方の PC オペレーター席にお越しください。B 会場、C 会場でご発表の方は、北九州国際会議場 1F サブエントランスホールの PC 受付にお越しください。ご発表の 60 分前までに PC 受付をお済ませください。

ポスター発表者へのお願い

- ◆ポスター発表は,6月25日(木),26日(金)の両日,ポスター会場(西日本総合展示場 AIM 3F D・E・F・G展示場)にて行います。なお、すべてのポスターを2日間連続で掲示します。
- ◆ポスターパネルは,掲示可能なスペースが横90 cm,縦210 cm で,そのうち最上段の縦20 cm は演題名等用のスペースとし,本文の示説用スペースは横90 cm,縦190 cm とします.
- ◆最上段左側の横 20 cm, 縦 20 cm は演題番号用スペースで, 演題番号は担当校が用意します. また, ポスター掲示用の押しピンは, 発表者自身で用意してください.
- ◆最上段右側の横70 cm, 縦20 cm のスペースに, 演題名, 所属, 発表者名を表示してください。なお, 演題名の文字は, 1文字4 cm 平方以上の大きさとします。また, 共同発表の場合, 発表代表者の前に○印を付けてください。演題名は英文を併記してください。
- ◆ポスター余白の見やすい位置に、発表代表者が容易にわかるように手札判(縦 105 mm、横 80 mm)程度の大きさの顔写真を掲示してください。
- ◆ポスターには図や表を多用し、見やすいように作成してください。3 m の距離からでも明確に読めるようにしてください。なお、図や表および説明文は英文で記載してください。内容は研究目的、材料および方法、成績、考察、結論などを簡潔に記載してください(※症例報告の場合は、緒言、症例、経過、予後、考察、結論)。



- ◆ポスターを見やすくするために、バックに色紙を貼ることは発表者の自由です。
- ◆ポスターの準備は、下記の日時で行ってください。

6月25日(木) 9:00~10:00

◆ポスター発表および質疑応答は以下のとおりです.

優秀発表賞(優秀ポスター賞)候補演題(P1~8)・CTP1~3・奇数番号:6月25日(木) 17:10~18:00 偶数番号:6月26日(金) 16:00~16:50

ポスター発表および質疑応答の時間は、発表者はポスター前に立って自由に討論を行ってください。

◆ポスター撤去は以下の時間内に行ってください.

6月26日(金) 17:00~17:30

座長の先生へのお願い

◆口演における次座長の先生は、15分前までに、次座長席にご着席ください.

理事, 編集連絡委員へのお知らせ

- ◆理事懇親会は,6月24日(水)19:00~21:00 リーガロイヤルホテル小倉 4F ロイヤルホールにて行います.
- ◆編集連絡委員会は,6月26日(金)12:00~13:00 北九州国際会議場 2F 21会議室にて行います.

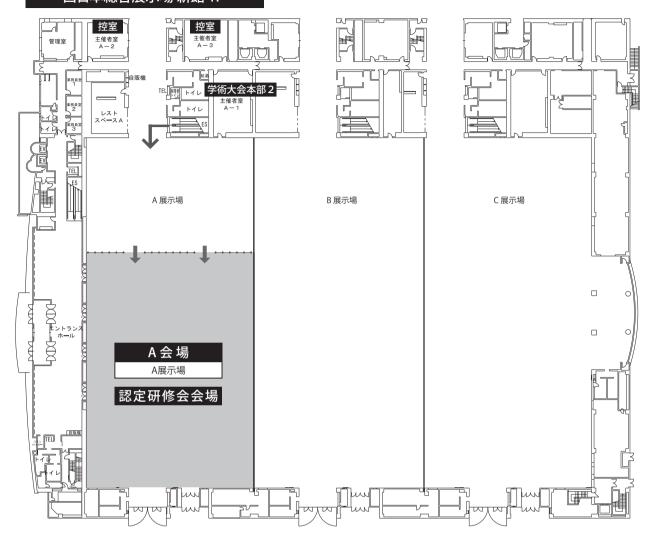
企業展示のお知らせ

◆協賛各社による企業展示を、企業展示会場(西日本総合展示場 AIM 3F D・E・F・G展示場)にて行います。展示時間は以下をご参照ください。

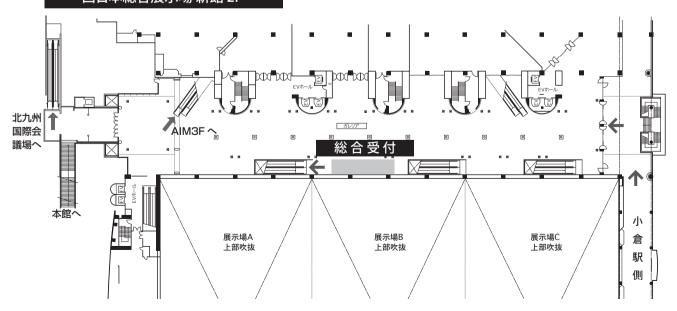
6月25日 9:00~18:00 6月26日 9:00~17:00

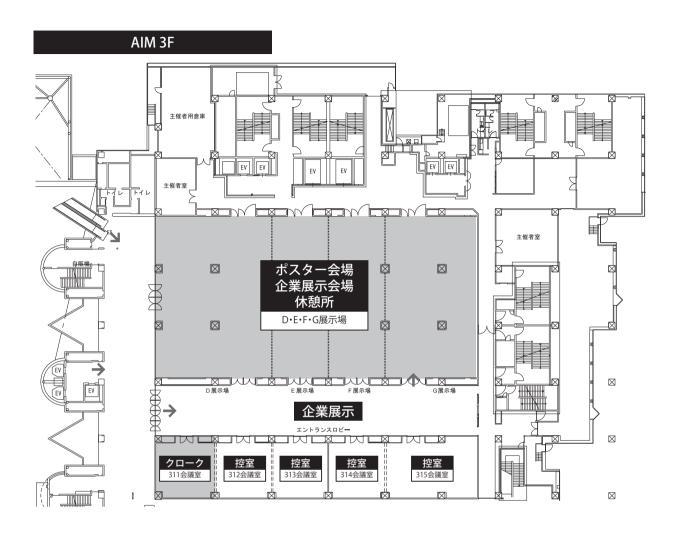
【会場案内図】

西日本総合展示場 新館 1F

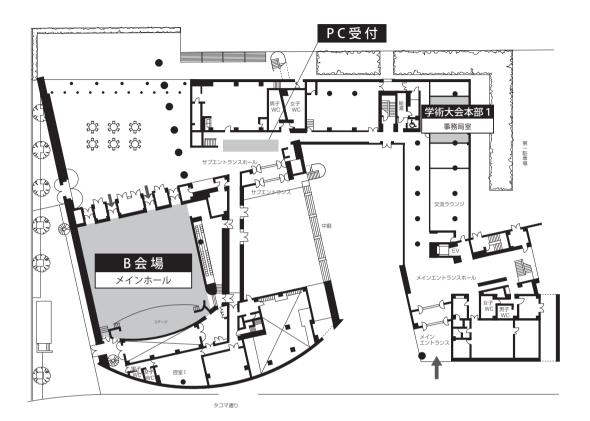


西日本総合展示場 新館 2F





北九州国際会議場 1F



北九州国際会議場 2F



学術大会スケジュール 前日 6月24日(水)

	ナルバムハ			
時間	22 会議室	21 会議室 AB	会議場 2F 21 会議室 CD	国際会議室
10:00	44 女诫主	41 云贼王 AD	41 女成主 UD	四际 公
10 . 00				
				_
	10:30~11:30	10:30~11:30	10:30~11:30	
11:00	認定委員会	定款委員会	教育問題委員会	
11 . 00	此是安貞云	足孙安貞云		
	11 : 20 - 12 : 20	11:30~12:30	11:30~12:30	
10 : 00	11:30~12:30			
12:00	医療合理化委員会	表彰委員会	国際交流委員会	
ļ				
	$12:30\sim 13:30$	$12:30\sim 13:30$	12:30~13:30	
13:00	学会のあり方委員会	学術用語委員会	広報委員会	
	13:30~14:30	13:30~14:30		
14:00	研究活性化委員会	倫理委員会		
11.00	WINDHEILS A A	IIII. 1377 A		
				-
15 . 00				+
15:00				
				-
16:00				15:00~17:30
				理事会
				生
]
]
17:00]
				<u>"</u>]
				17:30~18:00
				日本歯科医学会会長との
				懇談会
18:00				PENDIN ZA
10.00				
				-
				1

リーガロイヤルホテル小倉 4F ロイヤルホール 19:00~21:00 理事懇親会

学術大会スケジュール 第1日目 6月25日(木)

		ムハノノユ			J 20 H ()	
	西日本総合	展示場新館		際会議場	西日本総合	展示場 AIM
時間	総合受付	A 会場	B 会場	C 会場	ポスター会場	企業展示会場
''	(2F ガレリア)	(1F A 展示場)	(1F メインホール)		(3F D・E・F・G展示場)	(3F D・F・F・G 展示場)
8:30	受付開始	(11 11)(2/3/4/9/)	(11 / 1 5 1 7 7)	(21 国际公民主)	(OI D E I G (RA)	(31 D L 1 G (2/1/9/)
8 . 30	文刊用妇				ļ	
ļ					ļ	
			開会の辞			
9:00			B1			
			B2		i	
l			B3		9:00~10:00	
}				·		
			B4		ポスター準備	
			B5		ļ	
10:00				1	1	
			В6		1	
l		}	B7		ł	
			D0			
ļ			B8		{	
		10:10~11:40	В9			
			休憩		1	
11:00		シンポジウム I	B10		1	
			B11		1	
} -			B12		ł	
			D12		1	
ļ <u>ļ</u>				ļ	ļ.	
[J	
l i]	
12:00					1	
12.00		12:00~12:50	$12:00\sim 12:50$	12:00~12:50		
		ランチョン	ランチョン	ランチョン		
ļ						
		セミナーI	セミナーII	セミナーⅢ		
l]	
		休憩			1	
13:00					i	
13 . 00		13:00~13:50			1	
		評議員会			l	9:00~18:00
		総会			10:00~17:10	
		主 会 士			ポスター掲示	企業展示
		表彰式			ホスター拘小	
İ		休憩			ĺ	
14:00		11,72,		ĺ	i	
14 . 00					1	
					ļ	
ļ					ļ	
		14:00~15:20			ļ	
		特別講演 I			1	
					Ì	
15:00				ĺ	i	
13.00				ļ	1	
		————————————————————————————————————			1	
ļ		休憩			!	
[B13		J	
			B14	C1]	
<u> </u>		İ	B15	C2	1	
16:00					1	
16:00		15:30~17:00	休憩 P16		{	
ļļ		シンポジウムⅡ	B16		ļ	
			B17	C4]	
			B18	C4 C5		
			B19	C6	1	
l					1	
17.00		<u> </u>			1	
17:00						
ļ <u>l</u>						
[17:10~18:00	
l i					11, 10, 19, 00	
 					ポスター発表	
l					1	
10 . 00				-		
18:00						
<u> </u>						
[T						
j i		18:10~19:10]	
 	受付終了	初空位收入			İ	
	大川原丁	認定研修会			 	
					ļ	
19:00						

学術大会スケジュール 第2日目 6月26日(金)

mf- HH						OH (III)	
時間		·展示場新館 A 会場	B 会場	北九州国際会議場 C 会場	j I	四日本総合	展示場 AIM 企業展示会場
	(9F ガレリア)		(1F メインホール)	(9F 国際公議会)	2F 21 会議室		(3F D·E·F·G展示場)
8:30	受付開始	(II· A 成小物)		(21 国际五概主)		(St. D.E.L.G压小剂)	(SI D E I G 医小侧)
0.30	<u> </u>	<u> </u>					
9:00			B20				
			B21				
		1	B22 休憩				
		$9:00\sim10:30$	B23				
		シンポジウムⅢ	B24				
10:00		1	B25				
			B26				
		Д • ≨ 白	B27				
		休憩					
11:00		1		$10:40\sim11:50$			
		$10:40\sim 12:00$		歯科衛生士			
		特別講演II		教育講演			
ļ							
12:00							
				$12:10\sim 13:00$	12:00~13:00	$9:00\sim16:00$	
			ランチョン	ランチョン	編集連絡委員会	ポスター掲示	
			セミナーIV	セミナーV			9:00~17:00
13:00			休憩				企業展示
			B28				11.70,20.3
			B29				
			B30				
		$13:10\sim 14:40$	休憩 B31				
14:00		シンポジウムIV	B32				
11.00		1	B33				
			B34				
			B35				
			休憩 Pac				
15:00			B36 B37				
10.00			B38				
			B39				
			B40				
16:00	受付終了						-
10 + 00	人 印於 J			15:30~17:00		10.00 10.5	
				市民公開講座		16:00~16:50	
						ポスター発表	
						HH A ~ A	
17 . 00						閉会の辞	
17:00						$17:00\sim17:30$	
						ポスター撤去	

研修コード【3199】

特別講演 I

講演名:Encapsulation Technology for Central Nervous Disease with New Use in Dental Applications

日 時:2015年6月25日(木)14時00分~15時20分

会 場:A会場(西日本総合展示場 新館1F A展示場)

座 長:西原達次 教授 (九州歯科大学理事長・学長)

演者: Dr. Lars U. Wahlberg (President and CEO, NsGene Inc.)

演者略歴

Dr. Lars Wahlberg graduated with a Bachelor of Science in biophysics from University of Houston in 1980, and received his MD degree in 1985 from the University of Texas Health Science Center at San Antonio, Texas, USA. He trained in neurosurgery, neuroscience, and biomaterials at Brown University, USA and at the Karolinska Institute, Sweden, leading to his specialty boards in neurosurgery and his Ph. D. He received additional training in stereotactic neurosurgery from 1991 to 1992 at the Karolinska Hospital, Sweden, followed by a chief resident position and faculty appointment in neurosurgery at Rhode Island Hospital/Brown University, USA. Dr. Wahlberg left Brown in 1994 as an Assistant Professor of Medicine. From 1994 to 1997, Dr. Wahlberg served as Assistant Professor at Karolinska Institute,



where he in addition to clinical responsibilities did basic and applied research on neurosurgical implants and neural stem cells. Dr. Wahlberg joined CytoTherapeutics, Inc. in 1997 to develop encapsulated and neural stem cell products for restorative neurosurgery. The original encapsulation technology was invented, developed and patented by Dr. Wahlberg and colleagues (while at Brown). In 1999, Dr. Wahlberg moved to Denmark to spin-off a new biotechnology company, NsGene A/S, dedicated to develop cell- and gene-based therapies for neurological diseases. In 2011, NsGene, Inc. was spun out to focus on development on the encapsulated cell biodelivery device technology for the treatment of neurological disorders. The company was placed in Providence to leverage collaborations with Brown University, Rhode Island Hospital and surrounding biopharma and venture capital in the greater Boston area. At NsGene, Dr. Wahlberg is CEO and directs the R & D and clinical development activities with the near aim of bringing its encapsulated cell technology into clinical trials for Parkinson's disease. Dr. Wahlberg recently also rejoined the neurosurgical staff at Rhode Island Hospital/Brown University Medical School.

研修コード【2199】

特別講演 Ⅱ

講演名:我が国の歯学教育認証評価制度構築に向けて

日 時:2015年6月26日(金)10時40分~12時00分

会 場:A会場(西日本総合展示場 新館1F A展示場)

座 長:斎藤隆史 教授

(北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系う蝕制御治療学分野)

演 者:荒木孝二 教授

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯学教育システム評価学分野)

演者略歴

1980年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1984年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了(歯学博士) 東京医科歯科大学歯学部歯科保存学第3講座助手

1992年 東京医科歯科大学歯学部歯科保存学第3講座講師

1993年 アメリカ・コネチカット大学歯学部客員研究員(1年間)

1999年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科総合診療歯科学分野助教授

2002年 東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター教授

2006年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯学教育システム評価学分野教授兼任

2014年 東京医科歯科大学副歯学部長

学会等活動

日本歯科医学教育学会(常任理事),日本歯科保存学会(理事,専門医・指導医),日本歯科薬物療法学会(理事),医療系大学間共用試験実施評価機構(理事),IADR,AAE,JADR

研修コード【2599】

シンポジウム I

炎症制御と再生医療

―歯髄・歯周組織治療の新たなステップを目指して―

日 時:2015年6月25日(木)10時10分~11時40分

会 場:A会場(西日本総合展示場 新館1F A展示場)

座 長:田畑泰彦 教授(京都大学再生医科学研究所生体材料学分野)

座長略歴

1981年 京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻卒業

1988年 京都大学工学博士

京都大学医用高分子研究センター助手

1991年 米国マサチューセッツ工科大学、ハーバード大学医学部外科客員研究員(~1992年)

1996年 京都大学生体医療工学研究センター助教授

2000年 京都大学再生医科学研究所生体材料学教授

工学, 医学, 歯学の14大学の客員教授, 非常勤講師(~現在)

2002年 京都大学医学博士

2003年 京都大学薬学博士

学会等活動

日本炎症再生学会(理事),日本バイオマテリアル学会(理事),日本 DDS 学会(理事),日本再生医療学会(理事・編集委員長),創傷治癒学会(評議員),人工臓器学会(評議員)など

内閣府日本学術会議連携委員, American Institute for Medical and Biological Engineering (AIMBE, フェロー), Biomaterials Science and Engineering (フェロー), Tissue Engineering and Regenerative Medicine Society (TERMIS, フェロー)

講演1: 歯内療法への応用を目指した炎症制御タンパク質による骨再生誘導法の開発

演 者:土屋志津 助教(九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野)

演者略歷

2006年 九州歯科大学卒業

2007年 九州歯科大学附属病院歯科医師臨床研修修了

2011年 九州歯科大学大学院歯学研究科修了 博士(歯学)

九州歯科大学口腔機能科学専攻口腔治療学講座齲蝕歯髄疾患制御学分野医員九州歯科大学口腔機能科学専攻口腔治療学講座齲蝕歯髄疾患制御学分野助教

2013年 九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野助教(分野名変更)

学会等活動

日本歯科保存学会,日本歯内療法学会,歯科基礎医学会,日本歯科医学教育学会,日本再生歯科医学会,日本口腔顔面痛学会

講演2:再生歯髄組織におけるマクロファージ様細胞について

演 者:金子友厚 助教

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 う蝕学分野)

演者略歴

1996年 東京医科歯科大学卒業

2000年 東京医科歯科大学大学院修了

2002年 東京医科歯科大学歯科保存学第三教室助教

2003年 東京医科歯科大学歯髄生物学分野助教

2006 年 ミシガン大学う蝕・歯内教室 Postdoctoral Research Fellow 修了

2010年 新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野教室助教



学会等活動

日本歯科保存学会,日本歯内療法学会,IADRなど

Editorial Board: Journal of Dental Research, Journal of Tissue Science & Engineering

講演3:脂肪組織由来多系統前駆細胞移植(ADMPC)による歯周組織再生療法の開発

演 者:竹立匡秀 助教

(大阪大学大学院歯学研究科)

演者略歴

2000年 大阪大学歯学部卒業

2004年 大阪大学大学院歯学研究科修了(歯学博士)

Oklahoma Medical Research Foundation(米国)研究員

2007年 大阪大学大学院歯学研究科特任研究員

2008年 大阪大学歯学部附属病院医員

2009年 日本学術振興会特別研究員 (PD)

2011年 大阪大学大学院歯学研究科助教



学会等活動

日本歯科保存学会,日本歯周病学会,日本再生医療学会,日本骨代謝学会,日本炎症・再生医学会,IADR

研修コード【3199】

シンポジウム Ⅱ

歯科保存学と産学官連携 一日本のイノベーションで果たす役割一

日 時:2015年6月25日(木)15時30分~17時00分

会 場:A会場(西日本総合展示場 新館1F A展示場)

座 長:高柴正悟 教授

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 病態機構学講座 歯周病態学分野)

座長略歴

1986年 岡山大学歯学部歯学科卒業

1990年 岡山大学大学院歯学研究科修了 岡山大学助手(歯学部附属病院第二保存科)

1992年 アメリカ合衆国イーストマンデンタルセンター歯周病学講座客員研究員

1994年 岡山大学助手(歯学部歯科保存学第二講座,復職)

1995年 岡山大学助教授(歯学部歯科保存学第二講座)

1996 年 文部省在外研究員 (アメリカ合衆国南カリフォルニア大学歯学部顎顔面分子生物 学センター CCMB および国立衛生研究所歯顎顔面部 NIDCR, ~1996 年 5 月)

2001年 岡山大学助教授(大学院医歯学総合研究科歯周病態学分野)

2002年 岡山大学教授(大学院医歯学総合研究科病態制御科学専攻病態機構学講座歯周病態学分野)

2005年 岡山大学教授(大学院医歯薬学総合研究科病熊制御科学専攻病熊機構学講座歯周病熊学分野,機構改革)



日本歯科保存学会(理事),日本歯周病学会(理事),岡山歯学会(理事),国際歯科研究学会(International Association for Dental Research,元 Editorial Board Member),国際歯周病アカデミー(International Academy of Periodontology),日本未病システム学会(評議員),日本口腔検査学会(理事)

講演1:アベノミクスにおける健康医療戦略と産学官連携活動への期待

演 者:森下竜一 教授

(大阪大学大学院医学研究科,内閣府規制改革会議委員,内閣官房健康・医療戦略室戦略参与)

演者略歴

1987年 大阪大学医学部卒業

1991年 大阪大学医学部老年病講座大学院卒業 米国スタンフォード大学循環器科研究員

1992年 アメリカ循環器学会特別研究員



第1日目 A 会場

1994年 米国スタンフォード大学循環器科客員講師

1995年 学術振興会特別研究員

1998年 大阪大学大学院医学系研究科遺伝子治療学助教授 大阪大学大学院医学系研究科加齢医学(兼任)助教授

2000年 香港大学客員教授

2003年 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授

知的財産戦略本部本部員(~2007年,本部長内閣総理大臣)

2013年 内閣府規制改革会議委員(安倍内閣)

内閣官房健康・医療戦略室戦略参与(本部長 安倍晋三)

大阪府・市統合本部医療戦略会議参与

大阪府・市特別参与

講演2:我が国における産学官連携の動向について

演 者:渡邉陽平 課長補佐

(文部科学省科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課)

演者略歴

2002年 大阪大学基礎工学部卒業

2004年 大阪大学大学院基礎工学研究科修了

文部科学省入省

2009年 科学技術・学術政策局戦略官(地域科学技術担当)付戦略官補佐

2012年 研究開発局参事官(原子力損害賠償担当)付専門官

2015年 現職

講演3:歯科用マイクロ内視鏡開発を通してみる新規歯科医療 デバイス開発の実際

演 者:吉居慎二 助教

(九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野)

演者略歴

2008年 九州歯科大学卒業

2009年 九州歯科大学附属病院歯科医師臨床研修医修了

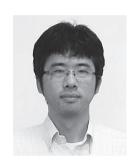
2013年 九州歯科大学大学院歯学研究科修了(歯学博士)

九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野助教

学会等活動

日本歯科保存学会, 日本歯内療法学会







シンポジウム Ⅲ

研修コード【2199】

学会主導型学術プログラム:次世代の歯科保存学教育への提言

日 時:2015年6月26日(金)9時00分~10時30分

会 場:A会場(西日本総合展示場 新館1F A展示場)

座 長:千田 彰 教授

(愛知学院大学歯学部保存修復学講座、日本歯科保存学会前理事長)

座長略歴

1973年 愛知学院大学歯学部卒業

同大学歯学部歯科保存学第一講座 (現保存修復学講座) 助手

1987年 カナダ・ウエスタンオンタリオ大学歯学部客員教授(~1988年)

カナダ・オンタリオ州歯科医師免許取得

1995年 愛知学院大学歯学部保存修復学講座教授

学会等活動

日本歯科保存学会(前理事長),日本歯科審美学会(理事),日本歯科医学教育学会(理事),日本接着歯学会(評議員),日本レーザー歯学会(評議員),外傷歯学会(理事),国際歯科学士会(ICD 国際理事,日本部会理事),国際歯科審美学会(会長),IADR(会員),JADR(評議員),Academy of Operative Dentistry(会員),American College of Dentists(フェロー)

講演 1: 超高齢社会における保存修復学教育のあり方

演 者:福島正義 教授

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔保健学分野, 日本歯科保存学会教育問題委員会委員, う蝕治療ガイドライン作成委員)

演者略歴

1978年 新潟大学歯学部卒業

1982年 新潟大学大学院歯学研究科修了(歯学博士)

新潟大学助手・歯学部附属病院(第1保存科) 1985年 米国インディアナ大学歯学部・客員研究員

1986年 新潟大学歯学部附属病院(第1保存科)講師

2001年 新潟大学歯学部附属病院(総合診療部)助教授

2004年 新潟大学医歯学系(歯学部口腔生命福祉学科担当)教授

2010年 新潟大学医歯学系(大学院医歯学総合研究科主担当)教授

学会等活動

日本歯科医学会(評議員),日本接着歯学会(会長,認定医),日本歯科保存学会(理事,専門医・指導医),日本老年歯科医学会(代議員,認定医・指導医),日本歯科理工学会(DMSA),日本歯科医学教育学会(評議員),日本口腔衛生学会,日本歯科審美学会(理事,認定医),日本歯科衛生教育学会(理事),全国歯科衛生士教育協議会(副会長)等





講演2:ユニバーサル時代を迎えた歯内療法

演 者:石井信之 教授

(神奈川歯科大学大学院歯学研究科 歯髄生物学講座, 日本歯内療法学会教育研究委員会委員長)

演者略歴

1983年 神奈川歯科大学歯学部卒業

神奈川歯科大学歯内療法学講座助手

1992年 フォーサイス歯学研究所免疫学教室に留学(~1993年)

1997年 広島大学歯科保存学第二講座兼任講師(~2007年)

2004 年 神奈川歯科大学大学院口腔治療学講座講師

2007年 神奈川歯科大学口腔治療学講座歯内療法学分野(現歯髄生物学講座)教授

PIO エンドセンター代表(現在に至る) DUBOIS 歯学研究所所長(現在に至る)

2009 年 東北大学歯内歯周治療学分野兼任講師(現在に至る)

神奈川歯科大学附属病院副院長(~2010年)

2011年 神奈川歯科大学副学長 (~2014年)

2014年 神奈川歯科大学理事長補佐 (現在に至る)



講演3:学会として基礎実習をどう捉えたのか―日本歯周病学会の取り組み―

演 者:原 宜興 教授

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 歯周病学分野, 日本歯周病学会教育委員会委員長)

演者略歴

1978年 九州大学歯学部卒業

九州大学大学院入学(口腔病理学専攻)

1982年 九州大学歯学部歯科保存学第一教室入局

1985年 九州大学歯学部附属病院講師 (第一保存科)

1989年 長崎大学歯学部助教授(歯科保存学第二講座)

2000年 長崎大学歯学部教授 (歯科保存学第二講座)

2004年 長崎大学大学院教授(医歯薬学総合研究科歯周病学分野)

2011年 日本歯周病学会教育委員会委員長 (~2015年3月)



シンポジウム Ⅳ

研修コード【2199】

EBM は歯科臨床を変えてきたか? -来る 10 年への針路を考える-

日 時:2015年6月26日(金)13時10分~14時40分

会 場:A会場(西日本総合展示場 新館1F A展示場)

座 長:林 美加子 教授

(大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子感染制御学講座 歯科保存学教室)

座長略歴

1987年 大阪大学歯学部歯学科卒業

1994年 大阪大学歯学部附属病院助手

1998年 博士 (歯学) (大阪大学)

2001年 英国マンチェスター大学客員研究員 (~2002年)

2005年 大阪大学歯学部附属病院講師

2011年 大阪大学大学院歯学研究科准教授

2012年 大阪大学大学院歯学研究科教授



学会等活動

日本歯科保存学会(認定医・指導医、常任理事、う蝕治療ガイドライン作成委員),日本歯科審美学会(認定医,理事),日本接着歯学会(理事),日本歯科理工学会(評議員),日本歯内療法学会(認定医,理事),国際歯科医学研究学会(IADR,JADR(理事)),The Cochrane Collaboration Oral Health Group(2001~),The American Association of Endodontists(Journal of Endodontics—Scientific Advisory Panel 2004~)

講演1:エビデンスをまとめる一臨床研究集積の必要性とコクラン共同計画の役割一

演 者:内藤 徹 教授(福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野)

演者略歴

1986年 九州歯科大学卒業

1992年 九州歯科大学歯学研究科修了(歯周病学専攻)

1993 年 米国 Temple 大学医学部研究員

1994 年 米国 Fox Chase Cancer Center 研究員

1995年 九州歯科大学助手

2004 年 福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野講師

2009 年 福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野准教授

2013年 福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野教授



学会等活動

日本歯科保存学会(評議員),日本老年歯科医学会(専門医・指導医),日本歯科心身医学会(指導医,評議員),日本歯周病学会,The Journal of Evidence-Based Dental Practice 誌(Elsevier Science)Editor,Evidence-Based Dentistry 誌(Nature Publishing)Editor

講演2:エビデンスを使う-EBM に基づいた診療ガイドライン使用の成果と課題-

演 **者**:和泉雄一 教授(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野, 日本歯周病学会理事長)

演者略歴

1979年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1983 年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了 東京医科歯科大学歯学部歯科保存学第2講座助手

1987年 ジュネーブ大学医学部歯学科客員講師

1992年 鹿児島大学歯学部歯科保存学講座 (2)助教授

1999年 鹿児島大学歯学部歯科保存学講座 (2)教授

2007年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野教授

2014年 東京医科歯科大学副理事



学会等活動

日本学術会議連携会員,日本歯科医学会(常任理事),日本歯周病学会(理事長,専門医・指導医),日本歯科保存学会(常任理事,専門医・指導医),日本再生医療学会(代議員),日本口腔インプラント学会(代議員),AAP,ASM,APSP (Treasurer)

講演3:エビデンスを創る一ハイブリッド型歯科医師の育成にむけて一

演 者:角舘直樹 教授 (九州歯科大学歯科医学教育センター)

演者略歴

2003年 北海道大学歯学部卒業

2004年 青森県立中央病院歯科口腔外科臨床研修修了 永山ファミリー歯科

2008年 北海道大学大学院博士課程修了 博士 (歯学) 北海道医療大学歯学部保健衛生学分野助教

2010年 京都大学大学院医学研究科臨床研究者養成 (MCR) コース修了 社会健康医学修士 京都大学大学院医学研究科医療疫学分野特定講師

2012年 スタンフォード大学医学部予防医学研究センター客員准教授

2013年 九州歯科大学北九州地区大学連携教育研究センター准教授

2015 年 九州歯科大学歯科医学教育センター教授 同 総合教育学分野(臨床疫学)教授兼任



学会等活動

The International Association for Dental Research (IADR), American Dental Education Association (ADEA), American Dental Association (ADA), Dental Practice-Based Research Network Japan (会長), 日本歯科医学教育学会 (評議員),日本口腔衛生学会

研修コード【2504】

歯科衛生士教育講演

講演名: Relationship between Periodontal Disease and Systemic Illnesses Focusing on Biofilm

(歯周病と全身疾患の関係―バイオフィルムを中心に―)

日 時:2015年6月26日(金)10時40分~11時50分

会 場:C会場(北九州国際会議場 2F 国際会議室)

座 長: Mr. Robert Bouwman (ヒューフレディ・ジャパン株式会社,日本支社長)

演者: Ms. Sherry Burns, R. D. H., M. S. (ミズーリ大学, 臨床准教授)

演者略歴

Clinical Associate Professor of Periodontics at the University of Missouri-Kansas City School of Dentistry

Graduated from the University of Michigan with a Baccalaureate Degree in Dental Hygiene Earned Master's Degree in Dental Hygiene Education at the University of Missouri at Kansas City



研修コード【2503】

認定研修会

講演名:歯髄組織の保存について考える一メカニカルストレスと歯髄組織の関係一

日 時:2015年6月25日(木)18時10分~19時10分

会 場:A会場(西日本総合展示場 新館1F A展示場)

座 長:佐藤 聡 教授

(日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座)

演 者:横瀬敏志 教授

(明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野)

演者略歴

1987年 明海大学歯学部卒業

1991年 明海大学大学院歯学研究科修了

1992年 昭和大学口腔病理学助手

米国 NASA 研究員として派遣

1995年 明海大学歯学部保存修復学講座助手

2000年 明海大学歯学部保存修復学講座助教授

2005年 奥羽大学歯科保存学講座教授

2013年 明海大学機能保存回復学講座保存治療学分野教授

学会等活動

日本歯科保存学会(理事,専門医・指導医),日本レーザー歯学会(理事,専門医),日本病理学会(口腔病理医),日本顎咬合学会(専門医),日本歯科東洋医学会(理事)

ランチョンセミナー I

研修コード【2603】

講演名:コンポジットレジン修復で対応可能な8CASES

日 時:2015年6月25日(木)12時00分~12時50分

会 場:A会場(西日本総合展示場 新館1F A展示場)

座 長:菊地琢伸 氏

(クラレノリタケデンタル株式会社 マーケティング・営業本部

企画開発部)

演 者:田代浩史 先生

(田代歯科医院)

演者略歴

1999年 東京医科歯科大学歯学部卒業

2003 年 東京医科歯科大学大学院修了

田代歯科医院(浜松市)

2007年 国立大学法人東京医科歯科大学非常勤講師(う蝕制御学)

2013 年 DIRECT RESTORATION ACADEMY OF COMPOSITE RESIN 主宰



(協賛:クラレノリタケデンタル株式会社)

ランチョンセミナー Ⅱ

研修コード【3103】

講演名:Review of Growth Factor Concentrated Fibrin Protocols by Whole Autoglogous Blood with Clinical Applications

日 時:2015年6月25日(木)12時00分~12時50分

会 場:B会場(北九州国際会議場 1F メインホール)

座 長:臼井通彦 准教授 (九州歯科大学口腔機能学講座歯周病学分野)

演者: Dr. Heechan Park, M. D., D. D. S., Ph. D (Director of KL Implant Dental Clinic)

演者略歷

Education

Seoul National University, Dentistry (Bachelor) D. D. S. Konkuk University Medicine (Bachelor) M. D. Dankook University Graduate School of Dentistry (Master) M. S. Dankook University Graduate School of Dentistry (Doctor) Ph. D.

Career

Professor, Department of Medical Administration in Yuhan College Visiting professor, Gacheon Medical College Director, Seoul Chan Dental Clinic Director, KL Implant Dental Clinic

Activity

Director, Vietnam Implant training course (Ho Chi minh, Hanoi, Da Nang City in Vietnam)
Director, China Implant training course (Beijing, Shanghai, Taiwian, Taizhou, Harbin, Jinan City in China)
Director, Oversea doctors invitation seminar of company DIO[®] dental implant (Iran, China, Vietnam)
Main presenter in Implant Seminar of company Neobiotech

(協賛:株式会社モリタ)



ランチョンセミナー Ⅲ

研修コード【2603】

講演名:材料を熟知し予後を読む

~スーパーボンドの特性を活かす臨床での使い方~

日 時:2015年6月25日(木)12時00分~12時50分

会 場:C会場(北九州国際会議場 2F 国際会議室)

座 長:清水博史 教授

(九州歯科大学口腔機能学講座生体材料学分野)

演 者:須貝昭弘 先生

(須貝歯科医院)

演者略歴

1957年 愛知県生まれ 1982年 九州歯科大学卒業 1988年 川崎市開業

学会等活動

スタディーグループ火曜会 臨床歯科を語る会 日本小児歯科学会 日本歯周病学会



(協賛:サンメディカル株式会社)

ランチョンセミナー Ⅳ

研修コード【2199】

講演名:新しい基礎医学教育教材とその教育効果

日 時:2015年6月26日(金)12時10分~13時00分

会 場:B会場(北九州国際会議場 1F メインホール)

座 長:斎藤隆史 教授

(北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系う蝕制御治療学分野)

演 者:佐藤博信 教授

(福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野)

演者略歴

1977年 九州歯科大学歯学部卒業

1981年 九州歯科大学大学院歯学研究科修了

九州歯科大学助手(歯学部歯科補綴学第一講座)

1984年 長崎大学助教授(歯学部歯科補綴学第二講座)

1994年 文部省在外研究員 (スウェーデン、イエテボリ大学歯学部歯科補綴学講座)

(~1995年6月)

1998年 福岡歯科大学教授(咬合修復学講座冠橋義歯学分野)

学会等活動

日本補綴歯科学会(専門医・指導医, 理事)

日本口腔インプラント学会(専門医・指導医、理事)

日本顎関節学会(専門医・指導医)

日本歯科審美学会 (認定医, 常任理事)

International College of Prosthodontists



(協賛:株式会社ニッシン)

ランチョンセミナー V

研修コード【2503】

講演名:"バイオガラス"で歯内療法を次のステージへ

―新規根管充塡シーラーの開発と再生医療材料への展開―

日 時:2015年6月26日(金)12時10分~13時00分

会 場:C会場(北九州国際会議場 2F 国際会議室)

座 長:今里 聡 教授

(大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 歯科理工学教室)

演 者: 鷲尾絢子 助教

(九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野)

演者略歴

2005年 九州歯科大学卒業

2009 年 九州歯科大学大学院歯学研究科修了(歯学博士) 九州歯科大学口腔機能科学専攻医療人間形成学講座総合診療学分野医員 九州歯科大学口腔機能科学専攻口腔治療学講座齲蝕歯髄疾患制御学分野医員

2010年 九州歯科大学口腔機能科学専攻口腔治療学講座齲蝕歯髄疾患制御学分野助教

2013年 九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野助教(分野名変更)

2013年 京都大学再生医科学研究所留学(2013年9月~2014年8月)

2014年 九州歯科大学口腔治療学講座口腔保存治療学分野助教

学会等活動

日本歯科保存学会,日本歯内療法学会,歯科基礎医学会,日本再生歯科医学会,日本口腔顔面痛学会,日本歯科医学教育学会,日本バイオマテリアル学会,日本再生医療学会

(協替:日本歯科薬品株式会社)

特定非営利活動法人

日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会(第 142 回)ー般発表プログラム

演題の読み方:上段; B は B 会場(北九州国際会議場 1F メインホール),C は C 会場(北九州国際会議場 2F 国際会議室),P はポスター会場(西日本総合展示場 AIM 3F D・E・F・G 展示場)を示し,次の 1~3 桁は演題番号,下 4 桁は発表開始時刻,() 内は分野,下段【 】は日本歯科医師会生涯研修個人カードの研修コードを示します.

(例) 上段 B1-0900. (修復) → B 会場, 演題番号 1 番, 午前 9 時 00 分, 修復分野 下段 【3101】 → 研修項目 XI-1-1) 歯科機器

第1日目 6月25 8:50~9:00	日(木) B 会場(北九州国際会議場 1F メインホール) 開会の辞日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会 大会長 北村知昭 理事長挨拶日本歯科保存学会理事長 興地隆史
9:00~11:30	研究発表
(m. m.)	座長:横瀬敏志(明海大歯)
B1-0900. (修復)	Er: YAG レーザー照射法に関する研究―チップ損耗性についての検討―
[3101]	
DO 0010 (版集)	(1大歯大院・保存,2大歯大・保存)
B2-0910.(修復) 【2599】	UVA 活性リボフラビンによるヒト象牙質の強化効果
L2599】 B3-0920 (修復)	…○上村怜央,新野侑子,岡本基岐,高橋雄介,林 美加子(阪大院歯・感染制御(保存)) In-air micro-beam PIXE/PIGE を用いた根面象牙質の脱灰評価
[2302] (191度)	○八木香子,山本洋子,岩見行晃,林 美加子(阪大院歯・感染制御(保存))
[2302]	·····································
	座長:真鍋厚史(昭大歯)
B4-0930.(修復)	歯面コーティング材の歯根象牙質への剪断接着強さと脱灰抑制効果
B4-0930.(修復) 【3001】	歯面コーティング材の歯根象牙質への剪断接着強さと脱灰抑制効果
, ,,,	
, ,,,	
[3001]	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
【3001】 B5-0940.(修復)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
【3001】 B5-0940.(修復)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
【3001】 B5-0940.(修復)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
【3001】 B5-0940.(修復) 【3001】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
【3001】 B5-0940.(修復) 【3001】 B6-1010.(修復) 【2604】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
【3001】 B5-0940. (修復) 【3001】 B6-1010. (修復) 【2604】 B7-1020. (修復)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
【3001】 B5-0940.(修復) 【3001】 B6-1010.(修復) 【2604】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

第1日目 B会場

[2604]	座長:堀田正人(朝日大歯) 37°C 1 週間の保管条件が試作セルフエッチングプライマーの接着強さに及ぼす影響
B10-1100.(修復) 【2604】 B11-1110.(修復) 【2604】 B12-1120.(修復) 【2603】	座長:奈良陽一郎(日歯大) 新規接着システム G-Premio BOND の接合界面の観察と臨床応用 ○陶山雄司、山田敏元、森上 誠、宇野 滋、杉崎順平(虎の門病院・歯科) 歯質への作用時間を0秒とした場合の象牙質接着性の検討 ○サイケオ ピポップ、チョウドリー アブ ファエム モハマッド アルマス、福山麻衣、川野晋平、角田晋一、星加修平、佐野英彦(北大院歯・修復・歯内) 新規1ステップ接着材の処理時間が微小剪断接着強さに及ぼす影響 ○島田康史、三田郁美、手塚弘樹、堀江 圭、荒牧 音、田上順次(医科歯科大院・う蝕制御)
$12:00\sim12:50$ $12:00\sim12:50$ $12:00\sim12:50$ $13:00\sim13:50$	 シンポジウム I (A 会場にて) ランチョンセミナー II (A 会場にて) ランチョンセミナー II (C 会場にて) 評議員会・総会・表彰式 (A 会場にて) 特別講演 I (A 会場にて) 研究発表
[2605]	座長:山本一世(大歯大) 最大化にする歯体組織保存のセラミック接着修復
B16-1610.(修復) 【2604】	座長:野田 守 (岩医大歯) ボンド中の機能性モノマー濃度が象牙質浸透性へ及ぼす影響

第1日目 B会場

B17-1620. (修復) クロスヘッドスピードとフロアブルコンポジットレジンが微小引張接着強さに及ぼす影響の

【2603】 光干渉断層計による観察

座長:新海航一(日歯大新潟)

B18-1630. (修復) 2種の新規象牙質接着材の微小引張り強さ

丁 世俊,福澤尚幸,川野晋平,角田晋一,星加修平,佐野英彦(北大院歯・修復・歯内)

B19-1640. (修復) 類側咬頭に対する荷重方向の違いがレジンコア支台築造モデルにおける

【2603】 接合界面のせん断応力分散に及ぼす影響

15:30~17:00 シンポジウムⅡ(A会場にて)

15:40~16:50 研究発表(C会場にて)

17:10~18:00 ポスター発表 (ポスター会場にて)

18:10~19:10 認定研修会(A会場にて)

第1日目 C 会場

第1日目 6月25日(木) C会場(北九州国際会議場 2F 国際会議室)

10:10~11:40 12:00~12:50 12:00~12:50 12:00~12:50	研究発表 (B 会場にて) シンポジウム I (A 会場にて) ランチョンセミナー II (B 会場にて) ランチョンセミナー III (B 会場にて) ランチョンセミナー III (B 会場にて) アンチョンセミナー III (B 会場にて)
	特別講演 I (A 会場にて)
15 : 30~17 : 00 15 : 40~16 : 50	シンポジウムⅡ(A 会場にて) 研究発表
C1-1540.(修復) 【2603】 C2-1550.(修復) 【2603】	座長:興地隆史(医科歯科大院) Er, Cr: YSGG レーザーによる窩洞形成と接着システムがラットの歯髄反応に及ぼす影響 一高田真代 ¹ ,鈴木雅也 ² ,羽下-辻村麻衣子 ³ ,新海航一 ² (¹ 日歯大院新潟・硬組織機能治療, ² 日歯大新潟・保存 II, ³ 日歯大新潟・解剖 2) 多種イオン徐放性フィラー含有試作アドヒーシブレジンを用いた直接覆髄法に関する研究 「川嶋里貴 ¹ ,鈴木雅也 ² ,羽下-辻村麻衣子 ³ ,新海航一 ² (¹ 日歯大院新潟・硬組織機能治療, ² 日歯大新潟・保存 II, ³ 日歯大新潟・解剖 2)
C3-1610.(歯内) 【2503】 C4-1620.(歯内) 【2599】	座長:林 善彦(長大院医歯薬) ラット歯髄炎における MMP-2、 MMP-9、 TIMP-1、および TIMP-2 の免疫組織学的局在 …○山崎雅弘、川合里絵、森本太輔、今泉一郎、柴田直樹、中田和彦(愛院大歯・歯内治療) Whole mount 免疫染色による Iba1 陽性マクロファージのヒト歯髄における三次元的解析
C5-1630. (歯内) 【2503】 C6-1640. (歯周) 【2206】	座長:齋藤正寛(東北大院歯) 歯髄組織および歯肉組織より得られた間葉系幹細胞の硬組織形成細胞への分化能の比較
17:10~18:00	ポスター発表(ポスター会場にて)

18:10~19:10 認定研修会(A会場にて)

第2日目 6月26日(金) B会場(北九州国際会議場 1F メインホール) 9:00~10:30 研究発表

座長:桃井保子(鶴大歯)

B20-0900. (歯内) 日本人上顎第一大臼歯の根尖側 3-6 mm の形態分類と観察:マイクロ CT を用いた研究

村松 敬¹, 古澤成博¹ (¹東歯大・保存, ²東歯大・解剖)

B21-0910. (その他) 健全な若年成人における局所麻酔時の音楽鎮静の効果

【2401】 一心拍変動解析を用いた自律神経活動による評価―

川浪雅光(北大院歯・歯周・歯内)

B22-0920. (その他) 唾液マーカーを用いたストレスと喫煙の関連性についての研究

廣藤卓雄1(1福歯大・総合歯科,2仲西歯科医院,3福歯大・口腔健康科学)

座長:五十嵐 勝(日歯大新潟)

B23-0940. (その他) 殺菌消毒液としてのプラズマ処理水

【3101】○北野勝久^{1,3}, 井川 聡², 山崎弘光³, 臼井エミ⁴, 田崎達也⁴, 大島朋子^{3,1}, 山本 要⁵,

細矢哲康5,前田伸子3,桃井保子4(1阪大院工・アトミックデザイン研究センター,

²大阪府立産業技術総合研究所,³鶴大歯・口腔微生物,⁴鶴大歯・保存修復,

5鶴大歯・歯内療法)

B24-0950. (修復) プラズマ処理水のう蝕感染象牙質に対する殺菌効果

【2501】 ーヒト抜去歯を用いた感染象牙質モデルでの検討ー

-----〇田﨑達也 1 , 臼井エミ 1 , 山本 \mathbb{B}^2 , 大島朋子 3,5 , 井川 \mathbb{R}^4 , 北野勝久 5,3 , 前田伸子 3 ,

桃井保子1(1鶴大歯・保存修復,2鶴大歯・歯内療法,3鶴大歯・口腔微生物,

4大阪府立産業技術総合研究所、5阪大院工・アトミックデザイン研究センター)

B25-1000. (修復) カキタンニンのポリマイクロバイアルバイオフィルムに対する増殖抑制効果

【2203】 ···○富山 潔¹, 長谷川晴彦¹, 椎谷 亨¹, 渡辺清子², 河田 亮³, 東 一善³, 二瓶智太郎⁴,

中村健一5, 奧原正國5, 邊見篤史5, 齋藤正寬6, 高橋 理3, 浜田信城2, 寺中敏夫1,

向井義晴1(1神歯大院・う蝕制御修復,2神歯大院・微生物感染,3神歯大院・神経組織発生,

⁴神歯大院・クリニカル・バイオマテリアル, ⁵リリース科学工業(株), ⁶東北大院歯・保存)

座長:中田和彦(愛院大歯)

B26-1010. (修復) 金および白金ナノ粒子の MMP-1 抑制効果と線維芽細胞に対する毒性作用

B27-1020. (歯内) カルシウムを混和した 4-META/MMA-TBB レジン上への新生骨の接触

川浪雅光(北大院歯・歯周・歯内)

9:00~10:30 シンポジウムⅢ(A会場にて)

10:40~12:00 特別講演Ⅱ(A会場にて)

10:40~11:50 歯科衛生士教育講演(C会場にて)

第2日目 B会場

12:00~13:00 編集連絡委員会(北九州国際会議場 2F 21会議室)

12:10~13:00 ランチョンセミナーⅣ

12:10~13:00 13:10~15:40	ランチョンセミナーV(C 会場にて) 研究発表
	座長:永田俊彦(徳大院)
B28-1310. (歯周)	Porphyromonas gingivalis 口腔感染は関節リウマチモデルマウスにおいて関節破壊を増悪する
[2203]	○宗永修一,應原一久,山川真宏,加治屋幹人,武田克浩,内田雄士,竹下 慶,
	水野智仁,藤田 剛,栗原英見(広大院医歯薬・歯周病態)
B29-1320. (歯周)	カルシニューリン阻害剤に誘導される歯肉増殖症の病態解明
[2504]	
B30-1330. (歯周)	マルファン症候群モデルマウスにおける歯周炎の組織破壊機構に関する研究
[2504]	
704 4070 (IF IT)	座長:三谷章雄(愛院大歯)
B31-1350. (歯周)	ゲノムワイドアプローチによる日本人侵襲性歯周炎の疾患関連遺伝子探索
[2901]	
B32-1400. (歯内)	副甲状腺ホルモンの間欠投与と根尖性歯周炎
[2609]	
B33-1410. (歯周)	新規スフィンゴシン-1-リン酸 (S1P) シグナル伝達経路による
【2504】	骨芽細胞の Smad1/5/8 リン酸化促進
	座長:松尾敬志(徳大院)
B34-1420. (歯内)	Lipopolysaccharide 刺激後のブタ Malassez 上皮遺残細胞の動態
[3104]	
B35-1430. (歯周)	老化歯根膜細胞における細胞外基質蛋白の発現変動
[2504]	
	座長:西村英紀(九大院歯)
B36-1450. (歯周)	歯根膜細胞における PLAP-1 による低酸素応答の制御
[2504]	
B37-1500. (歯周)	肥満病態形成に対する PLAP-1 の関与
[2504]	

第2日目 B会場

座長:佐藤 聡(日歯大新潟)

B38-1510. (歯周) RabGDIα はインターフェロン-ガンマ誘導性 GTPase による

【2203】 細胞内寄生性病原体の排除を制御する

林 美加子1 (1阪大院歯・感染制御 (保存), 2阪大微生物病研究所・感染病態,

3阪大免疫学フロンティアセンター・免疫寄生虫学)

B39-1520. (歯周) 歯周病感染器官培養モデルを用いた抗菌薬の効果に関する研究

B40-1530. (歯周) Spry2 が Porphyromonas gingivalis LPS 刺激マクロファージの分化に及ぼす影響について

西村英紀(九大院歯・口腔機能(歯周))

13:10~14:40 シンポジウムⅣ(A会場にて)

16:00~16:50 ポスター発表(ポスター会場にて)

16:50~17:00 閉会の辞(ポスター会場にて)

ポスター会場(西日本総合展示場 AIM 3F D・E・F・G 展示場)

6月25日(木) 9:00~10:00 ポスター準備 10:00~17:10 ポスター掲示 17:10~18:00 ポスター発表(Poster Session from Academy of Operative Dentistry, Republic of China, 優秀発表賞選考対象演題. 奇数番号) 6月26日(金) 9:00~16:00 ポスター掲示 16:00~16:50 ポスター発表 (偶数番号) 16:50~17:00 閉会の辞 17:00~17:30 ポスター撤去 Poster Session from Academy of Operative Dentistry, Republic of China CTP1 (修復) The Bond Ability of Silane Coupling Agent-containing Self-etching Adhesive to Composite Resin Ker-Kong Chen¹, Tomohiro Hoshika², Chun-Chan Ting³, Yoshihiro Nishitani⁴, [2604] Masahiro Yoshiyama⁴ (¹Department of Conservative Dentistry, Kaohsiung Medical University Chung-Ho Memorial Hospital and Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan, ²Department of Operative Dentistry, Okayama University Hospital, Japan, ³School of Dentistry, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan, ⁴Department of Operative Dentistry, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Japan) CTP2 (修復) Effects of Collagen Cross-linkers on Dentin Bond Strengths and Durability [2604] Tainan Municipal Hospital, ²Institute of Oral Medicine, National Cheng Kung University) CTP3 (修復) Using NIR Activated Phosphors to Enhance Polymerization of Dental Composites Chu-Chun Liao¹, Shu-Fen Chuang¹, Jui-Che Lin² (¹Institute of Oral Medicine, [2603]National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan, ²Department of Chemical Engineering, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan) 優秀発表賞選考対象演題 P1, 2 (修復), P3~5 (歯内), P6~8 (歯周) 青色励起光によって識別されるう蝕象牙質内 S. mutans の質的・量的検討 P1. (修復) **.....**○山田 \mathbb{Z}^1 , 森崎弘史², 有本隆文², 桑田啓貴², 伊佐津克彦¹, [2501] 長谷川篤司1(1昭大歯・保存・総合診療,2昭大歯・口腔微生物) P2. (修復) フロアブルレジンによる大臼歯咬合面1級修復の接着実態 [2603] ラット臼歯における幹細胞混合三次元スキャホールドを用いた歯髄再生 P3. (歯内) [2503] 興地隆史2(1新大院歯・う蝕,2医科歯科大院・歯髄生物) P4. (歯内) MMP 分子により分解された象牙質基質が象牙質歯髄複合体の創傷治癒に与える影響 [2503] ……………○岡本基岐, 高橋雄介, 小道俊吾, 林 美加子(阪大院歯・感染制御(保存)) P5. (歯内) 新規バイオガラス配合根管充塡用シーラーの封鎖性と生物学的影響 [2503]

P6. (歯周)	歯根膜および皮膚由来ヒト人工多能性幹細胞 (iPSC) を用いた
[2504]	神経堤細胞様細胞の樹立とその表現型の比較
	祐田明香 ² , 赤峰昭文 ² (¹ 九大病院・歯内治療科, ² 九大院歯・口腔機能(歯科保存))
P7. (歯周)	IX型分泌機構は Capnocytophaga ochracea の滑走運動とバイオフィルム形成能に影響を与える
[2504]	
	齋藤 淳 ^{1,2} (¹ 東歯大・歯周病, ² 東歯大口腔科学研究センター)
P8. (歯周)	全身疾患と歯周組織状態に関する臨床統計学的検討
[2401]	·······○杵渕恵那¹,須田智也¹,池田裕一²,水谷幸嗣¹,青山典生¹,早雲彩絵¹,小柳達郎¹,
	関内孝侑¹,塩山秀裕³,和泉雄一¹(¹医科歯科大院・歯周病,
	² トロント大歯・Matrix Dynamics Group, ³ 医科歯科大・口腔保健衛生学)
P9. (修復)	う蝕検知液でエナメル質の白濁病変(ICDAS Code 2)の崩壊度を識別できる
[2501]	
	桃井保子1(1鶴大歯・保存修復,2兵庫医大・歯科口腔外科)
P10.(修復)	動粘度が異なる齲蝕検知液の象牙質に対する染色性について
【 3102 】	························○稲垣里奈¹,小林幹宏¹,市川琴奈¹,新妻由衣子¹,宮﨑 隆²,
	真鍋厚史 ¹ (¹ 昭大歯・保存・美容歯科, ² 昭大歯・保存・理工)
P11.(修復)	新規 S-PRG フィラー配合バーニッシュの象牙質脱灰抑制能(第2報)
【2501】	一徐放されるフッ化物イオン濃度測定一
	\cdots 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次
	倉持江里香 ¹ , 大橋 桂 ³ , 二瓶智太郎 ³ , 向井義晴 ¹ (¹ 神歯大院・う蝕制御修復,
	² 神歯大短大・歯科衛生, ³ 神歯大院・クリニカル・バイオマテリアル)
P12. (修復)	S-PRG フィラーがう蝕歯質に与える影響について
【2501】	
P13.(修復)	ペプチド P_{11} -4 のエナメル質への応用における OCT 像の観察
【2501】	○瀧本正行¹,高橋史典¹,黒川弘康¹²,古市哲也¹,佐藤愛子¹,寺井里沙¹,
	宮崎真至 ^{1,2} ,若松英輝 ¹ (¹ 日大歯・保存修復, ² 日大歯総合歯学研究所・生体工学)
P14. (修復)	新規レジン強化型グラスアイオノマー充塡材料におけるバルクフィル特性の評価
[2603]	
P15. (その他)	
[3102]	
	菊地聖史 ¹ (¹ 鹿大院医歯・歯科生体材料, ² 鹿大院医歯・修復・歯内, ³ 鹿大院医歯・咬合機能補綴)
P16. (修復)	TTCP/DCPA 配合 4-META/MMA-TBB レジンの材料学的特性に関する研究
[3102]	 \bigcirc 大塚一聖 1 ,岩井啓寿 1 ,小峯千明 2 ,山本憲廣 4 ,若松尚吾 5 ,谷本安浩 3 ,
	平山聡司 ¹ (¹ 日大松戸歯・保存修復, ² 日大松戸歯・臨床検査医学,
	3日大松戸歯・歯科生体材料,4そよかぜ歯科医院,5荻窪わかまつ歯科)
P17. (修復)	各種セルフアドヒーシブセメントのフッ素徐放性ならびに酸中和能の評価
[2604]	○高橋 圭,星加知宏,横山章人,西谷佳浩,吉山昌宏(岡大院医歯薬・保存修復)
P18.(修復)	レジンセメントの色調変化がラミネートベニア修復に与える影響
[2603]	

P19. (修復) 【3102】 P20. (修復) 【2603】 P21. (修復) 【2603】	照射条件の違いによるバルクレジンの硬化深度
P22.(修復) 【2604】	吉田靖弘 ⁴ (¹ 岡大病院新医療研究開発センター, ² 岡大歯先端領域研究センター, ³ 岡大院医歯薬・生体材料, ⁴ 北大院歯・生体材料工学) CAD/CAM 用レジンブロックの表面汚染がレジンセメントの接着性に及ぼす影響 ○石井 亮 ¹ , 辻本暁正 ² , 島村 穣 ¹ , 古宅眞由美 ¹ , 宮崎真至 ^{1,2} , 松村正鴻 ³ , 斉藤充良 ⁴ (¹ 日大歯・保存修復, ² 日大歯総合歯学研究所・生体工学, ³ 松村歯科医院, ⁴ 斉藤歯科医院)
P23.(修復) 【2604】	CAD/CAM 用コンポジットレジンブロックに対する各種レジンセメントの接着性について
P24.(修復) 【3102】	西田尚敬,初岡昌憲,山本一世(大歯大・保存) 表面処理が CAD/CAM 用修復材料とフロアブルコンポジットレジンの接着強さに及ぼす影響
P25.(修復) 【2603】	セレックシステムによって作製された修復物の窩洞に対する適合性の観察
P26.(修復) 【3101】	付加製造技術による歯科用 3D プリンタの精度評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
P27.(修復) 【2604】	裏層材への表面処理が修復用セラミックとの接着強さに及ぼす影響 ○春山亜貴子¹,亀山敦史¹,田中章啓²,野呂明夫³,中澤祐一¹, 古澤成博¹(¹東歯大・保存,²東歯大・パーシャルデンチャー補綴, ³東歯大千葉病院・総合診療科)
P28.(修復) 【2604】	ユニバーサル接着システムの異なる被着体に対する接着性に関する検討〇坪田圭司 ^{1,2} , 古市哲也 ¹ , 白圡康司 ¹ , 吉田ふみ ¹ , 竹中宏隆 ¹ , 金澤智恵 ¹ , 宮崎真至 ^{1,2} , 日野浦 光 ³ (¹ 日大歯・保存修復, ² 日大歯総合歯学研究所・生体工学, ³ 日野浦歯科医院)
P29. (修復) 【2604】	エッチング時間がユニバーサルアドヒーシブ応用型レジンセメントの エナメル質接着強さに及ぼす影響
P30.(修復) 【2604】	アドヒーシブの重合方式の違いがレジンセメントの象牙質接着強さに及ぼす影響 ○黒川弘康 ^{1,2} ,白圡康司 ¹ ,柴崎 翔 ¹ ,飯野正義 ¹ ,竹中宏隆 ¹ ,瀧本正行 ¹ ,市石芳博 ¹ , 宮崎真至 ^{1,2} (¹ 日大歯・保存修復, ² 日大歯総合歯学研究所・生体工学)
P31.(修復) 【2501】	Er: YAG レーザーの照射条件の違いによる象牙質とレジンとの接着強さ

P32. (修復) 【2604】 P33. (修復) 【2604】	リン酸エッチング時間がセルフエッチシステムのエナメル質接着疲労耐久性に及ぼす影響 ○高見澤俊樹 ^{1,2} ,横川未穂 ¹ ,高橋史典 ¹ ,川本 諒 ^{1,2} ,辻本暁正 ^{1,2} ,升谷滋行 ^{1,2} , 宮崎真至 ^{1,2} ,吉野弘三 ³ (「日大歯・保存修復, ² 日大歯総合歯学研究所・生体工学, ³ 福石歯科) 歯面処理方法の違いが新規ワンステップボンディング材の 象牙質微小引張強さに及ぼす影響について ・○星加知宏 ¹ ,西谷佳浩 ² ,高橋 圭 ¹ ,
	吉山昌宏2(1岡大病院・むし歯科,2岡大院医歯薬・保存修復)
P34. (修復)	新規チオリン酸エステルモノマー配合ボンディング材の象牙質接着性能
【 3102 】	
	矢谷博文 ¹ (¹ 阪大院歯・クラウンブリッジ補綴, ² 阪大病院・口腔総合診療部)
P35. (修復)	一液性処理材の歯質接着強さ:処理時間の影響
[2604]	
	吉原久美子 ⁴ (¹ 岡大院医歯薬・生体材料, ² 岡大院医歯薬・総合歯科, ³ 岡大院医歯薬・保存修復, ⁴ 岡大病院新医療研究開発センター)
P36.	欠番 (CTP1 へ)
P37.	欠番 (CTP2 へ)
P38.	欠番 (CTP3 へ)
P39. (修復)	照射エネルギーが接着強さに与える影響
[2604]	
P40. (修復)	根管象牙質の異なる部位におけるレジンコアシステムの接着性
[2604]	
P41. (歯内)	化学重合型およびデュアルキュア型接着レジンコアシステムの辺縁適合性
[2503]	
P42. (修復)	新規暫間修復用レジンの基本的諸性質とその臨床応用
[2603]	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
P43. (修復)	フロアブルレジンの重合収縮と窩壁適合性(第2報)
[2603]	一照射条件の違いによる重合収縮挙動一
P44. (修復)	新規1ボトル1ステップボンディングシステムの
[2604]	象牙質知覚過敏症罹患モデル象牙質に対する接着性
2001	····································
	吉川一志、山本一世(大歯大・保存)
DIE (MASE)	
P45 (11多7岁)	「MI グレースフィル」と「G-プレミオボンド」を用いた歯質に対する接着性評価
P45. (修復) 【2604】	「MI グレースフィル」と「G-プレミオボンド」を用いた歯質に対する接着性評価

P46.(修復) 【2603】	ナノハイブリッド・インジェクタブルコンポジットレジンの 2 年後臨床評価 …○花田可緒理 ¹ ,平田-土屋志津 ¹ ,市丸-末松美希 ¹ ,浦田真理子 ¹ ,西野宇信 ² ,鷲尾絢子 ¹ , 吉居慎二 ¹ ,西藤法子 ¹ ,永吉雅人 ³ ,諸冨孝彦 ¹ ,北村知昭 ¹ (¹ 九歯大・保存, ² 九歯大・総合診療, ³ ながよし歯科)
P47. (修復)	試作コンポジットレジンに対する着色変化の観察
[2603]	
	中塚稔之 ³ (¹ 昭大歯・保存・美容歯科, ² 昭大歯・保存・理工, ³ (株) 松風)
P48. (修復)	A Case Report
[2603]	-Effect of Icon Resin Infiltration on White Spot Lessions after Debonding Orthodontic Brackets
	Chaohua Feng (Department of Cariology and Endodontology,
	Peking University School and Hospital of Stomatology, The First Consulation Department,
	Beijing, China)
P49. (その他)	極薄非晶質リン酸カルシウムシート重ね貼りによる象牙細管の封鎖効果
[3102]	·················○本津茂樹¹,井戸雄基¹,山本 衛¹,加藤暢宏¹,保尾謙三²,吉川一志²,
	山本一世 ² (¹ 近大生物理工学, ² 大歯大・保存)
P50. (修復)	リン酸カルシウムペースト系知覚過敏抑制材の象牙細管封鎖性について
[2502]	
	河村昌哲、吉川一志、山本一世(大歯大・保存)
P51. (修復)	リン酸カルシウム系ペーストの歯質ケア材としての有用性
[2502]	一第2報:薬剤ミネラルの HAp への転化と歯質象牙質との同化一
	桃井保子2(1鶴大歯・口腔解剖, 2鶴大歯・保存修復)
P52. (修復)	Clinical evaluation of a calcium phosphate containing desensitizer paste
[2502]	······○ ISHIHATA Hiroshi¹, MEHTA Deepak², Gowda Vishwas², Finger Werner J³, Sasaki Keiichi³,4
	(¹ Department of Oral Biology, Division of Periodontology and Endodontology,
	Tohoku University Graduate School of Dentistry, Sendai, Japan, ² Department of Conservative
	Dentistry and Endodontics, Vokkaligara Sangha Dental College and Hospital, Bangalore, India,
	³ Liaison Center for Innovative Dentistry, Tohoku University Graduate School of Dentistry,
	Sendai, Japan, ⁴ Division of Advanced Prosthetic Dentistry, Tohoku University Graduate School
	of Dentistry, Sendai, Japan)
P53. (修復)	Randomized, controlled clinical trial on dentin desensitization with a
[2502]	calcium phosphate containing paste
	Kanehira Masafumi ¹ , Mehta Deepak ² , Moogi Prashant ³ , Suresh Venkata ³ ,
	Rupesh Maratham C ³ , Sarto Masahiro ¹ , Sasaki Keiichi ^{4,5} (¹ Division of Operative Dentistry,
	Department of Restorative Dentistry, Tohoku University Graduate School of Dentistry,
	² Vokkaligara Sangha Dental College and Hospital, ³ K. L. E Society's Institute of Dental Sciences
	and Hospital, ⁴ Liaison Center for Innovative Dentistry, Tohoku University Graduate School of
	Dentistry, ⁵ Division of Advanced Prosthetic Dentistry, Tohoku University Graduate School
	of Dentistry)

P54. (修復)	各種知覚過敏抑制材の漂白への影響について
[2502]	一表面粗さについて一
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
P55. (修復)	オフィスブリーチング後のエナメル質に対するペースト型知覚過敏抑制材の効果
[2605]	
	佐野英彦 ¹ (¹ 北大院歯・修復・歯内, ² 兵庫医大・歯科口腔外科)
P56. (修復)	過酸化尿素処理がバイオフィルムの象牙質脱灰病巣形成に及ぼす影響
[2501]	…○長谷川晴彦 ¹ ,富山 潔 ¹ ,熊田秀文 ² ,飯塚純子 ¹ ,倉持江里香 ¹ ,國松雄一 ¹ ,椎谷 亨 ¹ , 寺中敏夫 ¹ ,浜田信城 ³ ,向井義晴 ¹ (¹ 神歯大院・う蝕制御修復, ² 神歯大院・歯学教育学, ³ 神歯大院・微生物感染)
P57. (修復)	着色表層下脱灰病巣モデルの開発と TMR 分析
[2605]	
[2003]	向井義晴 ¹ (¹ 神歯大院・う蝕制御修復, ² 神歯大院・放射線応用化学)
P58. (修復)	オフィスブリーチング剤が歯根象牙質に及ぼす影響―TMR および硬さ試験による検討―
[2605]	
	國松雄一,向井義晴(神歯大院・う蝕制御修復)
P59. (修復)	フッ化物配合ホームホワイトニング剤による処置後のエナメル質耐酸性について
[2605]	
P60. (修復)	光源の種類とオフィスホワイトニング材の漂白効果
[2605]	一褐色鶏卵卵殻に対する色調変化・波長特性と温度上昇一○黒川千尋,玉崗慶鐘,東光照夫,京泉秀明,真鍋厚史(昭大歯・保存・美容歯科)
P61. (修復)	メタリン酸ナトリウムによるオフィスブリーチング後の着色抑制
[2605]	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
P62. (修復)	超音波ダイヤモンドチップを使用した窩洞形成(第2報)
[3101]	一健全象牙質を対象とした研削性一
[0101]	\cdots の大橋 e^{1} , 竹田仁一 e^{2} , 椎谷 e^{2} , 飯塚純子 e^{2} , 富山 g^{2} , 向井義晴 e^{2} ,
	二瓶智太郎 1 (1 神歯大院・クリニカル・バイオマテリアル, 2 神歯大院・う蝕制御修復)
P63. (修復)	S. $mutans$ 血清型 f 菌株間の齲蝕原性
[2203]	
P64. (その他)	Phosphophoryn のセリン・アスパラギン酸繰り返し配列の長さと
【 3104】	細胞外基質石灰化効果との関連性
	○小武家誠司,鈴木茂樹,星野博昭,柴 秀樹(広大院医歯薬・歯髄生物)
P65. (歯内)	象牙芽細胞はTRPV1とAQP2を介してキシリトールの高浸透圧刺激に対する細胞死から免れる
【3104】	○徳田雅行,藤澤真理,宮下桂子,川上克子,山下(森元)陽子,
	鳥居光男(鹿大院医歯・修復歯内)
P66. (その他)	ラット歯髄における切削刺激後の CD90 陽性細胞の局在
[3104]	
	月野和 隆, 間 奈津子, 末原正崇, 古澤成博(東歯大・保存)
P67. (歯内)	象牙質窩洞形成により惹起される歯髄内リンパ管の局在変化
[2201]	

P68. (歯内)	ラット象牙芽細胞(KN-3)の自然免疫反応におけるシグナル伝達経路の解析
[2503]	
P69. (その他)	Lipopolysaccharide 刺激後のヒト歯髄細胞の動態
[3104]	
	間 奈津子, 末原正崇, 古澤成博 (東歯大・保存)
P70. (歯内)	歯髄幹細胞における CD146 mRNA 発現に対する lipopolysaccharide 刺激の影響
[2503]	
	興地隆史2(1新大院医歯・う蝕,2医科歯科大院・歯髄生物)
P71. (歯内)	Porphyromonas endodontalis は Epstein-Barr virus を再活性化する
[2503]	···················○牧野公亮¹,武市 収¹.²,羽鳥啓介¹.²,勝呂 尚¹.²,工藤 洋¹,今井健一³.₄,
	落合邦康 ^{3,4} , 小木曽文内 ^{1,2} (¹ 日大歯・歯内療法, ² 日大歯総合歯学研究所・高度先端医療,
	³ 日大歯・細菌, ⁴ 日大歯総合歯学研究所・生体防御)
P72. (歯内)	口腔内内視鏡システム用試作固定クランプの歯内治療への応用
[2503]	
P73. (歯内)	歯科用内視鏡による根管観察法の検討及び取得画像の三次元化
[3101]	
	北村知昭¹(¹九歯大・保存,²早稲田大院生産情報システム研究科)
P74. (歯内)	励起蛍光を応用した根尖病変の評価と細菌検査の比較検討
[2503]	○瀧野浩之,伊佐津克彦,勝又桂子,山田 理,長谷川篤司(昭大歯・保存・総合診療)
P75. (歯内)	過剰歯癒着と臼旁歯癒合を伴う下顎第二大臼歯の診断と
【2503】	歯内治療マネージメントにコーンビーム CTと 3D プリント技術を活用した 1 症例
	○加藤広之¹,神尾 崇²,村松 敬¹,古澤成博¹(¹東歯大・保存,²東歯大・歯科放射線)
P76. (歯内)	各種ケイ酸カルシウム系覆髄材に対するラット皮下組織反応の免疫組織化学的解析
[2503]	·················○日向 剛¹,吉羽邦彦¹,枝並直樹¹,武井絵梨花¹,重谷佳見¹,吉羽永子¹,
P77. (歯内)	興地隆史 ² (¹ 新大院医歯・う蝕, ² 医科歯科大院・歯髄生物) エンジン用根管拡大形成器具による拡大形成時間の比較
【2503】	
P78. (歯内)	各種 Ni-Ti ロータリーファイルによる根管形成の比較
[2503]	\cdots の の の の の の の の の の の の の の の の の の の
[2000]	鈴木重紀 ² , 宮崎 隆 ³ (¹ 昭大歯・保存・歯内, ² (医) 松山会・ことぶきわたなべ歯科医院,
	3昭大韓·保存·理工)
P79. (歯内)	ProGlider TM を用いたグライドパス作製後の根管壁面の SEM 観察
[2503]	················○飯野華絵¹,新井恭子¹²,北島佳代子¹²,北野芳枝²,朝比奈壮郎²,三好敏郎²,
	反町香子 ² , 五十嵐 勝 ^{1,2} (¹ 日歯大院新潟・硬組織機能治療, ² 日歯大新潟・保存 I)
P80. (歯内)	試作 EDTA ジェルおよび Optimum Torque Reverse エンドモーターによる根管形成の評価
[2503]	
	石井信之1(1神歯大院・歯内,2神歯大院・う蝕制御修復)
P81. (歯内)	試作 EDTA 溶液および Self-Adjusting File を用いた根管形成に関する研究
[2503]	ーナノインデンテーション法による脱灰象牙質の評価―
	石井信之1(1神歯大院・歯内,2神歯大院・う蝕制御修復)

P82.(歯内)	新たな根管清掃・消毒法に関する基礎的研究
[2503]	一超音波と LED の照射が過酸化水素水の活性酸素種生成に及ぼす影響
	\cdots 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
	小林慶美 ¹ , 落合邦康 ² , 小木曽文内 ¹ (¹ 日大歯・歯内療法, ² 日大歯・細菌,
	3神歯大院・光歯科医学、4神歯大横須賀湘南地域災害医療歯科学研究センター)
P83. (歯内)	キトサン-クエン酸溶液のスメアー層の除去効果と象牙質への浸食の程度の評価
[2503]	
	宮﨑 隆 ³ (¹ 昭大歯・保存・歯内, ² (医社)松山会・ことぶきわたなべ歯科医院,
	3昭大歯・保存・理工)
P84. (歯内)	根管内貼薬水酸化カルシウム製剤除去時の根尖孔部からの溢出に対する検討
[2503]	
	² 奥羽大歯・歯内, ³ 昭大歯・保存・歯内, ⁴ 昭大歯・保存・理工)
P85. (歯内)	S-PRG フィラー含有根管貼薬剤の Candida albicans に対する効果について
[2503]	○白井 要¹, 植原 治², 伊藤修一³, 斎藤隆史³,
	古市保志 ¹ (¹ 北医大歯・歯周歯内, ² 北医大歯・保健衛生, ³ 北医大歯・う蝕制御)
P86. (歯内)	ラット皮下組織における 4-META 含有レジン系シーラーの生体適合性
[2503]	○- 枝並直樹¹,重谷佳見¹,吉羽邦彦¹,日向 剛¹,吉羽永子¹,
	興地隆史2(1新大院医歯・う蝕,2医科歯科大院・歯髄生物)
P87. (歯内)	α-TCP/Te-CP セメントの根管充塡用シーラーへの応用
[2503]	ーセメント硬化体の pH 挙動,XRD,SEM および色素浸透性一
	吉田隆一 ¹ (¹ 朝日大歯・歯内, ² 朝日大歯・理工)
P88. (歯内)	ユージノール濃度を低減させた酸化亜鉛ユージノールセメントに関する基礎的検討
[2503]	
P89. (歯内)	スーパーボンド根充シーラーと PMMA ポイントを用いた根管充塡法による破折抵抗性
[2503]	
P90. (歯内)	MTA による広範囲歯根外部吸収歯穿孔部閉鎖の一症例
[2503]	·················○礒田浩太¹,北村和夫¹,石井隆資¹,山崎孝子¹,木幡 雅¹,四方田 拓¹,
	勝海一郎2(1日歯大・総合診療,2日歯大・保存)
P91. (歯内)	失活した根未完成歯に対し revascularization を行った症例
[2503]	○高林正行¹,増田宜子¹,細田秀剛¹,宮本千明¹,馬場 聖¹,
	宮﨑 隆2(1昭大歯・保存・歯内,2昭大歯・保存・理工)
P92. (歯内)	上顎切歯歯冠部に発症した内部吸収の一症例
[2503]	
	高柴正悟 ¹ (¹ 岡大院医歯薬・歯周病態, ² はなみずきデンタルクリニック, ³ 岡大病院・歯周科)
P93. (歯内)	歯根破折歯の意図的再植術による長期経過一自己血餅の有用性一
[2505]	\cdots 平河貴大 1 ,椛島浩明 2 ,栗田賢 $-^3$,寺田善博 4 (1 ひらかわ歯科医院,
	² 九大院歯・口腔機能(歯周), ³ 九大院歯・補綴, ⁴ 奥羽大歯・補綴)
P94. (歯内)	歯の再植後の硬組織変化に対する組織学的検索モデルに関する考察
[2505]	
	山田理絵 ¹ (¹ 日歯大新潟・保存 I, ² 日歯大院新潟・硬組織機能治療)

P95. (歯内)	HY 材を用いた当院での歯随温存処置
【2501】 P96. (歯内) 【2503】	マイクロ CT を用いた下顎切歯根管湾曲の三次元的観察 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
P97. (歯内) 【2503】 P98.	日本人上顎第一大臼歯の根管の根尖側 3 mm への年齢による差異:マイクロ CT を用いた研究○関谷紗世, 山田雅司, 宮吉教仁, 藤井理絵, 村松 敬, 古澤成博(東歯大・保存) (取り下げ)
P99. (歯内) 【2503】 P100. (歯内)	ラット象牙芽細胞(KN-3)に対するカテキンとカフェイン酸の抗炎症作用 〇細川由樹,湯本浩通,平尾功治,中西 正,武川大輔,松尾敬志(徳大院・保存) 象牙芽細胞様細胞の生存維持における GDNF 分泌ディバイスの効果について
[2503]	○西藤法子¹,諸冨孝彦¹,鷲尾絢子¹,花田可緒理¹,平田-土屋志津¹,Wahlberg Lars², Emerich Dwaine²,北村知昭¹(¹九歯大・保存,²NsGene Inc., USA)
P101. (歯内) 【2503】	IL-1β 誘導オートファジー関連遺伝子 Atg5 はマウス ES 細胞由来象牙芽細胞の 細胞増殖を制御する
P102. (歯内) 【2503】	松本 享 ¹ ,中田和彦 ¹ (¹ 愛院大歯・歯内治療, ² 愛院大薬・生体機能化学)ポリリン酸誘導 MMP-3 はマウス iPS 細胞由来象牙芽細胞の細胞増殖を制御する
P103. (歯内) 【2503】	中田和彦 ¹ (¹ 愛院大歯・歯内治療, ² 愛院大薬・生体機能化学) ラット培養歯髄細胞における ectodin の象牙芽細胞様細胞分化に及ぼす影響について ○上田堯之, 門倉弘志, 横瀬敏志(明海大歯・歯内療法)
P104. (歯内) 【3199】	感染根管における新規ナノバブルを用いた根管内無菌化と歯髄再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
P105. (歯内) 【2503】	MRI による抜髄後歯髄再生治療法の有効性解析
P106. (歯周) 【2203】	<i>Porphyromonas gingivalis</i> によるヒトマスト細胞からの interleukin-31 産生誘導
P107.(歯周) 【3104】	培養歯肉線維芽細胞におけるクリプトタンシノンによる炎症関連分子の産生抑制効果
P108. (歯内) 【2503】	試作非接触型電磁式加振装置に関する基礎的研究 -模擬歯根膜の性状変化がレーザー変位計によって測定した 力学的パラメーターに及ぼす影響ー ○小林 寛¹, 林 誠¹³, 山岡 大²⁴, 石井佳笑¹, 古宮宏記¹, 清水康平¹³, 鶴町 保¹³, 小木曽文内¹³ (¹日大歯・歯内療法, ²日大歯・基礎自然科学分野(物理), ³日大歯総合歯学研究所・高度先端医療, ⁴日大歯総合歯学研究所・機能形態)

P109.(歯周) 【2504】	侵襲性歯周炎における治療効果予知マーカーとしての細菌検査の有用性 ○竹内康雄, 片桐さやか, 小林宏明, 駒崎利奈, 須田智也, 若松美江, 高松秀行, 早雲彩絵, 高野琢也, 楠 侑香子, 吉田明日香, 杵渕恵那, 大津杏里, 関内孝侑, 片山沙織, 中里昭仁, 三瀬太記, 和泉雄一(医科歯科大院・歯周病)
P110. (その他) 【3102】	S-PRG イオン溶出液が口腔内細菌バイオフィルムにおよぼす影響
P111. (その他) 【3103】	アパタイト光触媒配合歯磨剤の抗菌性 一第二報一添加量による影響
P112. (歯周) 【2504】	慢性歯周炎に対する抗菌的光線力学療法と局所薬物配送システムの 微生物学的および臨床的効果 ○保苅崇大 ¹ , 両角俊哉 ¹ , 吉野敏明 ^{1,2} , 小松康高 ¹ , 田中真喜 ² , 清水太郎 ¹ , 田中良枝 ² , 久保田健彦 ¹ , 吉江弘正 ¹ (¹ 新大院医歯・歯周, ² (医社) 誠敬会・誠敬会クリニック)
P113.(歯周) 【3002】	大保田健彦, 日江弘正 (初入院区園・園周, (区社) 誠敬云・誠敬云 (カーケッ) 歯周炎患者に対する電子歯ブラシの効果について ○高野琢也, 田中敬子, 小林宏明, 須田智也, 御給美沙, 今村亮祐, 和泉雄一 (医科歯科大院・歯周病)
P114.(歯周) 【2504】	瘢痕化を伴う歯肉退縮に対して審美的回復を試みた一症例
P115. (歯周) 【3102】	垂直性骨内欠損に対して垂直方向への造成を考慮した術式の試み ○白井義英 ¹ ,本多正直 ¹ ,今泉健太 ¹ , 梅田 誠 ^{1,2} (¹ 大歯大病院・歯周治療科, ² 大歯大・歯周病)
P116.(歯周) 【3104】 P117.(歯周)	マウスケラチノサイト株における CLCA の NF- κB による転写制御 …・○廣松 亮¹, 八田光世², 山﨑 純², 坂上竜資¹ (¹福歯大・歯周, ²福歯大・分子機能制御) LPS 刺激ヒトケラチノサイトでのオートファジー経路
[2202]	一一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
P118.(歯周) 【2504】	ROCK 阻害剤は歯根膜細胞の遊走を促進する○河村麻理¹, 山本直史², 吉原千暁¹, 松永一幸¹, 井手口英隆¹, 本郷昌一¹, 下江正幸¹, 大森一弘², 高柴正悟¹(¹岡大院医歯薬・歯周病態, ²岡大病院・歯周科)
P119.(歯周) 【2504】	歯根膜細胞における α-SMA 発現に Transgelin が関与する○御手洗裕美 ¹ ,和田尚久 ² ,前田英史 ² ,長谷川大学 ¹ ,吉田晋一郎 ¹ ,濱野さゆり ¹ , 祐田明香 ¹ ,友清 淳 ² ,赤峰昭文 ^{1,2} (¹ 九大院歯・口腔機能(歯科保存), ² 九大病院・歯内治療科)
P120.(歯周) 【2504】	マクロファージにおけるアメロジェニン刺激の影響の網羅的遺伝子解析
P121.(歯内) 【2503】	必須微量元素ホウ素の培養骨芽細胞細胞膜 Ca チャネルへの影響○大久保賢亮,井川一成,山本裕也,山田志津香,林 善彦(長大院医歯薬・齲蝕)

P122. (歯周) 【2504】	骨芽細胞における慢性炎症メディエーター Angptl 2 の発現及び機能解析
P123. (歯内) 【2503】	骨再生療法における組織内での Fish collagen の動態 第一報:生分解時期の組織学的観察 ○山本耕平,池田 毅,柳口嘉治郎,山田志津香,林 善彦(長大院医歯薬・齲蝕)
P124.(修復) 【2503】	PS リポソームおよびハイドロキシアパタイトの併用による骨欠損修復への応用
P125.(歯周) 【2504】	マウス皮下移植における羊膜上培養歯根膜由来細胞シートの骨形成能の検討 ○遠藤悠美 ¹ ,雨宮 傑 ¹ ,本城賢一 ¹ ,市岡宏顕 ¹ ,足立圭司 ¹ ,大迫文重 ¹ ,西垣 勝 ¹ , 山本俊郎 ¹ ,中村 亨 ^{1,2} ,金村成智 ¹ (¹ 京府医大院・歯科口腔科学, ² 字治徳洲会病院)
P126.(歯内) 【2503】	2種の幹細胞を用いた象牙質・幹細胞凝集複合体による歯周組織再生療法 ○田中雅士¹, 川木晴美², 奥野公巳郎¹, 小栗健策¹, 森 春菜¹, 河野 哲¹, 近藤信夫², 吉田隆一¹(¹朝日大歯・歯内, ²朝日大歯・口腔生化学)
P127. (その他) 【3104】	低出力パルス超音波はマウス筋芽細胞の分化を促進する
P128. (歯周) 【2402】	周術期口腔機能管理下における患者の歯周病状態について ○大木亜悠子,大畑菜々子,鈴木結己,村田侑加,藤川瑞穂,吉峰正彌, 小倉喜一郎,鴨井久博(日本医大千葉北総病院・歯科)
P129.(歯周) 【2402】	歯周病の重症度別分類を用いた歯周病と糖尿病の関係解析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
P130.(歯周) 【2504】	中津川市における妊婦の歯周炎関連検査と出産・新生児との関係
P131. (その他) 【2698】	Does dental students' ability to self evaluate affect their performance in preclinical operative dental procedures? Hiroe Ohyama, Sheetal Asher, German Gallucci (Harvard School of Dental Medicine,
P132.(修復) 【2598】	Department of Restorative Dentistry and Biomaterials Sciences) 講座を超えた実習教育の取り組み 〜浸潤麻酔可能な顎模型の保存修復学シミュレーション実習への導入〜 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
P133.(歯内) 【2503】 P134.(歯内) 【2503】	ProTaper Next による湾曲根管形成修得の教育効果

P135. (その他)	周期変調性の神経電気刺激を用いたオトガイ神経知覚障害への治療効果
[3101]	
	雨宮 傑, 坂下敦宏, 金村成智(京府医大院・歯科口腔科学)
P136. (その他)	局所麻酔が自律神経活動に及ぼす影響一健全な若年成人と高齢患者の比較一
[2401]	
	川浪雅光(北大院歯・歯周・歯内)
P137. (その他)	難治性疼痛の発症と維持における血小板活性化因子(PAF)合成酵素 LPCAT2 の役割
[2499]	
	土肥敏博4(1広大院医歯薬・歯髄生物,2広島文化学園大院看護・薬理学,
	³ 武庫川女子大薬, ⁴ 日本薬科大薬物治療)
P138. (その他)	税務署職員における口腔衛生指導(航空自衛隊隊員との比較)第2報
[2110]	··············○車田文雄¹,長岡正博¹,廣瀬公治¹,齋藤高弘¹,佐藤穏子²,佐々木重夫²,
	木村裕一 ² (¹ 奥羽大歯・口腔衛生, ² 奥羽大歯・歯内)